

# 町屋地域での「計画停電」など 問題解決に全力をつくします

日本共産党荒川区議会議員団

## 横山幸次

区政報告  
ニュース

418

2011年3月27日  
発行 日本共産党区議団  
3802-4627  
fax3806-9246  
✉ arajcp@tcn-cat  
v.ne.jp  
町屋相談室  
荒川区町屋5-3-5  
3895-0504  
✉ yoko1951@aol.jp

横山幸次区議のホームページを  
ご覧下さい。  
「横山区議」で検索して  
下さい。

裏面 防災福祉  
のまちづくり

### 計画停電の運用改善と区民負担軽減へ 区と東京電力に申し入れを行いました

3月23日、荒川区議会は、区議会幹事長会の合意のもと議長名で「計画停電に対する申し入れ」を東京電力に行いました。内容は、計画停電への協力は惜しまないことを前提に、「先行きが不透明な状況も踏まえ、公平に痛みを分かち合い、皆が納得できる計画に見直し」を求めるものです。

### 横山区議が 住民要望を伝える

横山区議も地元議員として同行し、他の区も公平に負担する運用改善と技術的問題の解決、東電として正確な情報を住民に伝える責任、一日2回6時間停電は行わないこと、節電の徹底など強く求めました。



東電に区民の声と状況を伝える  
横山区議と申し入れ



また、「商売に支障が出ている」「訴訟を起こしたい気持だ」「高齢者など災害弱者への配慮」など直接東京電力に区民の声を伝えました。横山区議は、引き続き区民のみなさんの声を東電や区に届け、いっそうの改善のために力を尽くします。

### 横山区議が計画停電地域の状況と 寄せられている要望を区に申し入れ

3月22日、横山区議は、計画停電対象地域の状況と住民のみなさんの要望を総務企画部長、福祉部長に申し入れました。

第一は、同じ地域が繰り返し停電になり「不公平」という声が広がっており、区としても東電に改善を求めること。第二に、停電で中小業者が臨時休業している事態もあり、実情をつかみ支援を行うこと。第三に、停電によって困難な生活状態になる方々への支援を強めること...などです。

これに区は、同様に考えており、東電に対して働きかけを強めると答えました。



みなさんから地震や計画停電での状況やご意見が寄せられています。

## 定例法律相談

4月4日(月)  
午後6時～8時  
横山区議事務所

弁護士と横山区議が相談をお受けします。秘密は厳守します。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介いたします。生活相談は、随時受け付けています。お気軽にご連絡ください。  
TEL&FAX 3895-0504  
不在時は、留守電へ、後で連絡します。  
区役所控室 3802-4627

### 2峡小のブロック塀にも被害が… 区内の耐震診断や耐震補強を急がなければ

区役所に向かう途中にある第二峡田小学校の裏門側のブロック塀(内側はプール)に区役所の工事用コーンと「危険立ち入り禁止」のテープが貼られていました。狭い道でもあり補強工事など一刻も早い対応が必要です。同様な事例は他にないのでしょうか。町屋地域を見てみると被害を受けた建物や建造物は少なくありません。とりあえずの危険な箇所への対策は当然です。



横山幸次

# いまこそ町屋で「福祉防災のまちづくり」を 区のまちづくりの見直しをすすめるとき

この図は、以前コミュニティバスと福祉のまちづくりで掲載したものをもとにつくりました。あらためて、安心して住み続けることのできる「まちづくり」とは何か...今後いっしょに考え行動したいと思います。

歩道の整備など全体をバリアフリーとユニバーサルデザインでまちづくり

区民住宅に高齢者、障害者住宅併設

**福祉と災害に強いまちづくりを最優先に**

密集市街地整備促進地区(2,3,4丁目)

町屋2,3,4丁目は、木造住宅が密集し都の地震危険度調査でも建物倒壊と火災に注意すべき地域と指摘されています。安全な町にするためには、公的住宅の建設など取り入れた整備など抜本的な対策が必要です。同時にまず命を守るため耐震化への支援が急がれます。

このバス路線は横山幸次区議の試案です。みなさんのご意見をお寄せ下さい。

**「福祉・防災のまちづくり」で何が必要でしょうか...**

いま東日本大震災への被災者救援と復興支援に全力をあげるときです。同時に、この機会に私たちの地域についても考えることが大事だと思います。これまでの「駅前再開発」中心から区民の多くがくらし、しかも地震危険度の高い地域の改善こそ最優先にするときです。そのために次のことが大事ではないでしょうか。

密集市街地整備事業を区のまちづくりの中心に

なかなか進まない原因は、住み替え住宅や代替地がないことです。やはり公共住宅の整備と一体の取り組みが必要です。同時にバリアフリーと耐震補強も推進して「逃げなくてもよいまち」にしていくなど求められます。

地域内の福祉、介護、医療、子育てなどのネットワークをいっそう強化することです。こうしたソフト面のネットワークこそいざというときの最大のよりどころになります。

みなさんのご意見をお寄せください。



**グリーンパール那須を被災者に提供**  
一般の利用募集が21日の区報に載りましたが、福島県の被災者に急ぎよ提供することを決定のため中止。一般利用できません。記事差し替えが間に合わなかったようです。地震に原発事故、避難生活を余儀なくされる方がたくさんおられます。可能な限り空いている住宅や施設など提供すべきです。

## 救援募金にご協力下さい

共産党区議団は、区内の被害対策とともに被災者救援活動に取り組んでいます。

当面、救援募金に全力をあげていますので、ご協力をお願いします。